

# う え だ 市議会だより

令和4年3月定例会  
令和4年5月16日号

No.87



上田市議会Facebook



上田市議会Twitter

第3回表紙デザインコンテスト『議長賞』受賞作品  
作品名：「閃光」  
撮影者：仙田 晴久さん

# 3月定例会の概要

令和4年度上田市一般会計予算を審査し、  
原案のとおり可決  
市長選・市議選を控え、新規事業は今後の補正予算で対応へ



予算の概要

## 計上された事業と委員会での審査内容をピックアップ

500万円

スマートシティ化  
推進事業

上田市スマートシティ化推進計画に基づき、地域課題の解決に向け、先端技術活用による実証事業等を実施するための負担金を計上

最先端  
技術活用

### 総務文教委員会での質疑

- Q** 上田市の重点プロジェクトに位置づけられる事業の予算としては少ないと考えるが、見解はどうか。
- A** 計上した500万円については実証実験を進めるための予算であり、市の令和4年度当初予算全体において、行政のデジタル化などの上田市スマートシティ化推進計画に位置づけられた事業の予算を全て合わせると3億4,000万円余となる。

600万円

中心市街地活性化  
出店支援事業補助金

商店街振興組合が誘致したテナント出店者を対象とした空き店舗改修費用の補助金を計上

補助率：1/3以内（上限額150万円）

人口減少・  
少子化対策

### 産業水道委員会での質疑

- Q** 業種の想定はどうか。また、活性化を行う中心市街地のコンセプトをどのように考えているか。
- A** 飲食店の出店に係る利用が実績として多いが、特定の業種を規定したものではなく、小売業など様々な業種にも活用いただきたいと考えている。また、中心市街地のコンセプトは、地元商店会関係者との話し合いなどの機会を通じ、商業者やその地区の居住者の皆さんとともに考えていきたい。

会期 2/7 から 3/4 まで (26 日間)

議案数 条例案7件、予算案19件、事件決議案6件、意見書1件、人事案件1件 合計34件を  
全て可決または適任と決定

一般質問 22人の議員が一般質問を実施 ▶▶▶ 質問内容は 8 ページ以降に掲載

## 令和4年度一般会計 当初予算の概要

予算額 684 億 1300 万円

<歳入の主な内訳> 市税215億円(31.5%)、地方交付税145億円(21.3%)

<歳出の主な内訳> 民生費239億円(34.9%)、土木費90億円(13.3%)

648 万円

### 医療的ケア児等総合 支援事業(新規事業)

医療的ケア児等重症心身障がい児等への支援として、コーディネーターの配置、障害児施設等へ看護職の派遣を行うための委託料を計上

子育て  
支援

## 厚生 委員会での質疑

Q 支援の仕組みはどうか。

A 令和3年9月の「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」の施行を受け、上小圏域4市町村共同事業及び定住自立圏事業として新たに実施する事業で、医療的ケア児とその家族が居住する地域にかかわらず、在宅で等しく適切な支援が受けられるよう、医療的ケア児等コーディネーター資格を有する看護職員の事業所への配置や看護職員の派遣などを行う仕組みである。

631 万円

### 地域協議会運営事業

地域協議会の運営に係る委員報酬、講師謝礼、旅費などを計上

- ・上田右岸地域、上田左岸地域、正副会長会 280 万円
- ・丸子地域 135 万円・真田地域 112 万円
- ・武石地域 102 万円

市民協働  
推進

## 環境建設 委員会での質疑

Q 上田地域に6単位あった地域協議会を千曲川の右岸地域と左岸地域で各1単位、合計2単位に再編することにより、各地域協議会の担当地域が広範囲となるが、協議内容や方法はどのように考えているか。

A 令和4年度は再編前の3地域の特性などを理解することから始めていく必要があるため、各地域の現地視察を行っていくほか、各地域共通の課題を選定し一緒に取り組むことができる協議内容を検討していく必要があると考えている。また、再編前の単位で分科会を設置し、単位ごとの個別の課題に取り組むことも考えている。

9,746 万円

G I G A スクール  
構想推進事業

市内の小中学校に、児童生徒向けの 1 人 1 台のタブレット端末と学校等の ICT 環境を整備するための委託料や賃借料などを計上

最先端  
技術活用

## 総務文教委員会での質疑

**Q** コロナ禍による学級閉鎖等が懸念される中で、タブレット端末を活用したオンライン授業が有効だと考えるが、現在の実施状況はどうか。

**A** 小中学校では、オンライン授業として、学校と家庭を繋いだライブ配信授業だけでなく、健康観察、課題及びドリルなどの家庭学習等で活用が図られている。また、令和 4 年 1 月以降に学級閉鎖等が行われた半数以上の学級で、オンライン授業が実施されている。

588 万円

新規就農者支援体制  
整備事業

関係市町村や信州うえだファーム等と連携し、就農を目指す研修生の確保および支援を実施するための負担金を計上

人口減少・  
少子化対策

## 産業水道委員会での質疑

**Q** さらなる新規就農の拡充を図るため、研修の受け入れ先に働きかけを行うべきではないか。

**A** 農業の担い手確保は重要な課題と捉えたうえで、受け入れに際し、可能な部分については働きかけを行っていきたいと考える。また、新規就農者の獲得にあたっては、本事業に加え、令和 4 年度に向け採用を予定している 2 名の地域おこし協力隊員に新規就農支援等の業務にあたってもらうなど、様々な施策を活用しながら対応していく。

## 3 月定例会常任委員会の審査概要

総務文教委員会：開催日 2 月 15 日・21 日・22 日

審査事項：条例案 1 件、予算案 5 件、事件決議案 4 件

産業水道委員会：開催日 2 月 15 日・24 日・25 日

審査事項：条例案 1 件、予算案 10 件

厚生委員会：開催日 2 月 21 日・22 日、3 月 4 日

審査事項：条例案 2 件、予算案 9 件、事件決議案 2 件

環境建設委員会：開催日 2 月 24 日・25 日、3 月 4 日

審査事項：条例案 3 件、予算案 5 件

265 万円

## 公立保育園 ICT化事業

ICT（情報通信技術）を活用した保護者との連絡、園児の登降園管理などを実施するための使用料や賃借料などを計上

最先端  
技術活用子育て  
支援

### 厚生 委員会での質疑

**Q** システムを導入した保育園の状況と今後の展望はどうか。

**A** 令和4年1月から川辺保育園、東塩田保育園、塩川保育園の3園に導入し、2月から運用を開始した。これまで園児の欠席等の連絡方法は電話のみであったが、システムの導入により、メールのような形で保護者からの連絡が届くことから、まん延防止等重点措置期間中は各園の約2割の園児が欠席したが、保育士の業務負担は軽減し、保護者の利便性は向上した。保育園のICT化は、保育士不足の改善と保育士の働き方改革につながることから、早期に全園導入を目指したい。

3,580 万円

## 地球温暖化対策設備 設置費補助金

太陽光活用設備導入に関する設備の導入に対する補助金を計上

- 新設項目
  - ・断熱改修：外窓交換・内窓設置、ガラス交換  
1件あたり6万円上限
  - ・V2H（電気自動車等充給電設備）システム  
費用の1/10、1件あたり6万円上限

市民協働  
推進

### 環境建設 委員会での質疑

**Q** 地球温暖化対策設備設置費補助金の補助対象設備を追加したことは評価できるが、ゼロカーボンシティの実現に向けて二酸化炭素の排出量を抑制する必要がある中、太陽光発電設備の補助単価を減額する理由は何か。

**A** 太陽光発電設備の補助については、県内自治体により対応が異なることや令和2年度と比較して設置単価が低下したことなどを踏まえ、補助金全体のバランスを図った結果、減額するものである。

### ミニ知識

## 上田市議会の常任委員会

- ・総務文教委員会、産業水道委員会、厚生委員会、環境建設委員会  
所管する市の部局ごとの事務を効率的・専門的に審査しています。
- ・広報広聴委員会  
市民意見の集約、議会の活動内容を市民に提供すること及び市民意見の把握に関することを所管とし、議会だよりの発行などを行っています。

## 条例

上田市特別職の職員等の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例及び上田市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例中一部改正を審査

可決

### 改正ポイント

#### 消防団員の処遇改善として団員報酬を増額

部長：35,700円→45,000円 班長：23,500円→40,000円 団員：14,200円→36,500円

#### 消防団員の処遇改善として出動報酬を新設

火災や災害時の出動に対し、出動報酬を支給

2時間未満：2,000円 2時間以上4時間未満：4,000円 4時間以上または1日：8,000円

#### 消防団員の定員を見直し

団員数の減少に伴い、定員を2,270人から1,850人へ変更

## 補正予算

### 令和3年度上田市一般会計補正予算(第14号)を審査

可決

令和3年度上田市一般会計補正予算(第14号)が2月15日の本会議に提案されたことから、同日中に総務文教委員会および産業水道委員会を開催し、審査を行いました。また、委員会での審査後は、同日の本会議で審議を行い、可決となりました。

#### 補正予算に計上された事業をピックアップ



1億9,500万円

売上減少事業者一斉支援事業

#### 売上減少事業者へ支援金を給付

対象者：国が実施する事業復活支援金を受給した  
市内に本店または住民票を有する事業者  
給付金額：1事業者あたり10万円

詳細は上田市ホームページをご覧ください。



#### ●その他の計上事業

- ・事業復活支援金申請サポートセンター設置負担金・・・150万円
- ・総務管理事業（職員のPCR検査に係る検査手数料）・・・160万円

## 補正予算

令和4年度上田市一般会計補正予算  
(第1号)を審査

可決

## 補正予算に計上された事業をピックアップ

職員の処遇改善を行う各施設に対し、当該処遇改善を行うために必要な経費を計上

83万円	社会的養護従事者 処遇改善事業	929万円	放課後児童支援員等 処遇改善臨時特例事業
母子生活支援施設での処遇改善に係る経費		放課後児童クラブでの処遇改善に係る経費	
2,951万円	保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業補助金		
教育・保育施設等での処遇改善に係る経費に対する補助			

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の強化

902万円	観光施設における感染症対策事業
市内観光施設のトイレ等における洗面用水栓及び小便器の洗浄を非接触化するための改修工事費を計上 上田地域 4 施設 / 丸子地域 4 施設 / 真田地域 8 施設 / 武石地域 5 施設	

## 意見書

## 1件の意見書を可決し、国へ送付

可決

2月17日の本会議では、議員提案による意見書が提出され、同日の本会議で審議を行い、可決となりました。

## 燃油価格の抑制を求める意見書

トリガー条項の発動を含め、燃油価格の引き下げに向けた即効性のある施策を講ずることを国に要望するもの

## ミニ知識

## 意見書とは？

議会の意思を意見としてまとめ、国会や国、県などの関係行政庁に提出する文書を意見書といいます。意見書を提出するためには、本会議で可決する必要があります。

意見書の詳細はこちらをご覧ください➡



## 22人の議員が市政を問う

# 3月定例会一般質問要旨

新型コロナウイルス感染症対策として、質問時間を通常より10分間短縮して、一般質問を実施しました。

答弁者名は以下のとおり省略して記載しています。

市長…市長	教育長…教育長
総務…総務部長	市民まち…市民まちづくり推進部長
生活環境…生活環境部長	福祉…福祉部長
健康こども…健康こども未来部長	商工観光…商工観光部長
農林…農林部長	都市建設…都市建設部長
丸子センター…丸子地域自治センター長	真田センター…真田地域自治センター長
武石センター…武石地域自治センター長	教育次長…教育次長

掲載記事は、質問議員本人が作成しており、質問全体の一部を要約したものです。質問全体の内容については、会議録に掲載しています。会議録は、議事事務局、市内図書館、公民館および上田市議会ホームページからご覧いただけます。

なお、一般質問は上田ケーブルビジョンおよび丸子テレビ放送のご協力により、生放送と録画放送を行っています。またインターネットによる生中継と録画配信も行っています。

上田市議会のホームページはこちら  
<https://www.city.ueda.nagano.jp/site/gikai/>



## 地域振興

松尾 卓 (公明党)

**問** 過疎対策事業債の活用を踏まえ、将来的な視点で持続可能な地域の在り方として地域ビジョンを策定すべきと考えるが、見解はどうか。

**答** (武石センター) 過疎対策事業に対する各種財政投資を受けるために策定する過疎地域持続的発展計画を今後の武石地域のまちづくりの核となるものと捉え、多様な住民意見が反映されるよう各種団体とも連携を図りながら、

「住みたい、住んでみたい」武石地域となるようなビジョンの策定を進めていく。

**問** 車椅子乗車等の新たなニーズに対応するため、武石地域のデマンド交通事業の転換、継続を検討すべきと考えるが、見解はどうか。

**答** (武石センター) 新たな住民ニーズの開拓として、車椅子での利用等も視野に入れ、利用促進につながるよう検討していく。

### ●その他の質問項目

#### 1. 避難所運営



## 再犯防止、社会を明るくする運動の推進

久保田 由夫 (日本共産党)

**問** 再犯の防止等の推進に関する法律は地方自治体に対し地方再犯防止推進計画の策定を努力義務としているが、市の取組はどうか。

**答** (福祉) 再犯防止施策の推進により、犯罪や非行をした人の立ち直りのため今後第4次上田市地域福祉計画に再犯防止推進の項目を盛り込むなど施策の検討を行っていく。

**問** 国は毎年7月を「社会を明るくする運動強調月間」として再犯防止啓発月間としている。

市は社会を明るくする運動に主体的に取り組む必要があると考えるが、見解はどうか。

**答** (福祉) 今年7月の強調月間に合わせ、市の広報紙に保護司制度を含む更生保護活動に関する記事の掲載を計画している。

**問** 保護司の活動や担い手確保に対する市の支援はどうか。

**答** (福祉) 引き続き保護司会に対する支援や社会を明るくする運動に対して協力をする。

### ●その他の質問項目

1. 会計事務
2. 国道254号道の駅事業





## 有害鳥獣駆除

中村 悠基 (上志の風)

**問** 農業者からの相談を猟友会につなげるための窓口を周知すべきと考えるが、見解はどうか。

**答** (農林) 今後、市の広報紙やホームページ、JA信州うえだの広報誌などを活用し、広く周知していく。

**問** 有害駆除を効率的に行うために、赤外線搭載のドローンを活用すべきと考えるが、見解はどうか。

**答** (農林) 赤外線センサーにより鳥獣の出没場所

などを把握する手段として導入の事例があることも承知している。有効性が見込まれる場合は希望される猟友会の各支部などと協力して実験的に取り組むことは十分可能であると考えている。今後も新しい取組について、一つ一つ検証しながら有害鳥獣対策の充実を図っていく。

### ●その他の質問項目

1. 指定管理者制度
2. 安定的な水資源の確保



## 農林業振興

小林 隆利 (社志会)

**問** 営農指導員等の営農指導に携わる人材の確保や育成などを行うための助成制度を創設できないか。

**答** (農林) 営農指導員は農業振興に係る地域の課題解決に向けた活動や担い手の育成など農業振興を持続可能な形で推進していくために果たす役割は大きいと考えており、営農指導に係る新たな支援策は他市町村等の状況を見ながら検討していきたい。

**問** 国が策定したみどりの食料システム戦略を実現するため、農林業に関する専門的知識や経験を有する職員を計画的に採用すべきと考えるが、見解はどうか。

**答** (農林) みどりの食料システム戦略は部局横断的に進めていくことが重要であり、今後、必要な場合には外部からの登用も含め、専門的知識や経験を有する職員の採用も検討していきたい。

### ●その他の質問項目

1. 令和4年度地方財政計画と令和4年度上田市当初予算
2. 上田市の人口減少と生産労働人口



## コロナ禍での経済政策

斉藤 達也 (新生会)

**問** TicketQRによる消費喚起応援事業について、市内中小企業への支援と地域内経済循環の観点から、PayPayによるものと比較した場合の効果はどうか。

**答** (商工観光) PayPayのポイント還元額の総額は約6億円であり、30%の還元率であったため、約20億円の消費喚起効果があったが、そのうち市内中小企業で利用された割合は約4割強であるため、約8億円余が市内中

小企業の消費につながったと推計している。一方、Ticket QRは、参加登録店舗を市内中小企業に限定しており、割引額の総額が予算額ベースで3億円、割引率が20%であることから、約15億円の消費喚起につながり、PayPayと比較して約半分の予算で約2倍の経済効果を市内中小企業にもたらす予定であると捉えている。市内中小企業は市内での取引が多いと思われることから、売上げによる所得や仕入れによる消費など、地域内経済循環の観点からも有効性が高いと考えている。



## 介護事業

古市 順子 (日本共産党)

**問** 第8期上田市高齢者福祉総合計画における第1号被保険者の介護保険料の基準額は月額5,902円だが、県内19市中3番目に高額である。第9期計画では介護保険基金を活用した基準額の引下げを検討できないか。

**答** (福祉) 令和4年度には第9期計画の基礎資料とするため高齢者実態調査の実施を予定している。介護給付と保険料の財政均衡を図りつつ、介護保険基金の活用についても検討して

いく。

**問** 高齢者施設に対する感染防止対策用物資の供給、施設職員に手当を支給できるような市独自の支援を検討すべきではないか。

**答** (福祉) 昨年9月に感染防止対策のため、市内72法人に対して、衛生用品の配布を行い、要望に応じ現在も配布している。引き続き国や県の動向を注視するとともに、介護事業所からの要望なども伺いながら、市独自の支援については検討していく。

### ●その他の質問項目

1. 国民健康保険



## 新型コロナウイルスへの小中学校の対応

渡辺 正博 (日本共産党)

**問** インターネット環境が整っていない家庭に対するオンライン授業への対応はどうか。

**答** (教育長) 児童生徒が一斉に自宅待機となる場合は、環境が整っていない家庭の児童生徒全てには対応は出来ない。学校全体の臨時休業の場合はオンライン授業とプリント学習を併用するが、予防対策を徹底し、教室でオンライン授業に参加してもらうことも考えられ

る。休校中でも学びを止めないよう学習活動を続けていきたい。

**問** 高校入試等控えた中学3年生への対応はどうか。

**答** (教育長) 分散登校は登校日が1日おきになることから、生活リズムに狂いが生じる可能性がある。中学3年生の安定した学習環境を守っていかねばならず、市としては分散登校せずに工夫して授業を行っている。少しでも安心して受験に臨めるよう、学習面だけでなく心の面でも全力で支えていく。

### ●その他の質問項目

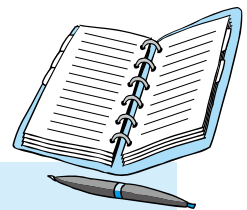
1. 感染拡大防止のための事業
2. 経済対策事業
3. 生活支援事業

## 傍聴者の声

### 本会議を傍聴されたみなさんの声

～こんなご感想をいただきました～

3月定例会本会議の傍聴者数は延べ25人でした。傍聴された皆さんから寄せられた、ご感想やご意見の一部を紹介します。



- 平和行政の質問の時の議場の緊張感が良かった。(80代以上・女性)
- 二人続けての質問は効率的で良かった。(70代・男性)
- 議長が、最後のまとめに、世界平和に関して触れたことに感激した。(70代・男性)



## 資源循環型施設 建設関連

尾島 勝 (新生会)

**問** 資源循環型施設建設に伴う、ごみ収集車両及び建設工事車両のルートはどうか。

**答** (生活環境)ごみ収集車両は、建設候補地の東方面は古舟橋北側から、西方面は上田大橋北側から進入し、千曲川堤防道路を通行するルートを考えている。課題となるのは、上田大橋北側からのルートで、現状でも霞堤の箇所が一般車両の通行でも困難な箇所があり、

道路整備を行う必要がある。また、工事関係車両は、古舟橋北側から堤防道路を通行するルートを想定している。

**問** 周辺地域の青写真を含めた用途地域の変更はいつか。

**答** (生活環境)周辺の振興策については地元住民と協議を進める中、今後検討するまちづくりの方針に基づき土地利用の方向性を見据えて判断する。用途地域の変更の時期は、環境影響評価終了後、資源循環型施設に関する都市計画決定と同時期を目途に検討するのが適当と考える。



## 菅平高原の宿泊等の キャンセル

佐藤 諭征 (新生会)

**問** 昨年末以降、宿泊施設やレンタル業、スキー学校のキャンセル状況はどうか。

**答** (真田センター)5万2,000泊余の宿泊予約がキャンセルとなり、4億円超の影響額と試算され、更に増えることが懸念される。関係団体の調査によるとスキーレンタル業で5,000万円余、スキー学校で8,000万円余の影響が生じており、厳しい状況であると報

告を受けている。

**問** 昨年度に引き続き今年度も旅館・ホテル業事業者宿泊予約キャンセル等支援事業を実施すべきではないか。また、レンタル業やスキー学校にも対象を広げるべきではないか。

**答** (真田センター)国が実施する事業復活支援金に10万円の上乗せを行うことで、事業継続の下支えを図りたい。旅館・ホテル業事業者宿泊予約キャンセル等支援事業については状況を見ながら検討していきたい。

### ●その他の質問項目

1. 民生委員・児童委員
2. 道路整備



## 持続可能な地域の発展

金沢 広美 (公明党)

**問** 地域の福祉と公共交通を担う豊殿地区の地域福祉車の役割をどう捉えているか。また運営等の支援はできないか。

**答** (都市建設)昨年12月から、循環バスに代わる移動手段として一戸当たり1,000円の負担を継続する一方、事前予約により自宅から地域内の希望先まで送迎するドアツードア方式に切り替えを行い、運行が開始された。移動手段としての役割のほか、健康や福祉の増進、生きがいづくりや地域活性化の視点から

も発展性が期待できる。市もオブザーバーで参加しており、交通事業者との連携等の視点から協力していく。財政的な支援は公共交通機関との関係性を考慮し、運営方法や利用状況を確認する中で部局横断的な連携を図り、支援の在り方を検討する。

**問** 稲倉の棚田、信州上田クライנגルテン眺望の郷岩清水をどう位置付けているか。

**答** (農林)市における地域活性化の優良事例であり、都市農村交流の拠点でシティプロモーションの一端を担うものと認識している。地域ブランドを強力に押し上げ、上田ブランドとして活用していく。



## 沢山池耐震改修

池田 総一郎（上志の風）

**問** 工事が遅れているが、今後の工事の見込みと、仮に来年の貯水ができない場合の減反補償についての考えはどうか。また、幹線揚水機の稼働に対して補助金を交付する考えはどうか。

**答**（農林）令和4年度は、当初の予定どおり通年施工で堤体の盛土工事を進めるが、工事の完了は1年遅れ、令和6年度となる予定である。地域の皆様にご協力をいただく特例的な

減反については、当初の予定どおり令和4年度の1年のみをお願いする。2年連続の減反はないということで補償についてはご理解いただきたい。また、幹線揚水機の稼働に係る電気代などの直接的な補助は難しいが、送水に伴う施設の緊急的な修繕などの支援については、今後も引き続き市として取り組んでいく。

### ●その他の質問項目

1. 日本遺産



## 上田市での情報発信の在り方

林 和明（新生会）

**問** 上田市マルチメディア情報センターを有効に活用すべきと考えるが、見解はどうか。

**答**（市長）平成29年の審議会において、施設としては廃止することもやむを得ないとの答申をいただいている。一方で、答申の中には、デジタル化の恩恵をより多くの市民の皆様が享受できるためのセミナーあるいはパソコン教室、出前講座あるいは学校教育現場への情

報化の支援、開所当初から取り組んでいるデジタルアーカイブ事業などは継続、充実を図ることが盛り込まれている。これまでのセンターの実績、社会環境の変化を踏まえ、地域の未来を担う子供たちに向けたICT人材の育成や市民誰もがICTの利便性を実感できるデジタル活用支援、またデジタルアーカイブを活用したまちの活性化の視点は今後も大変大事なテーマであると考えており、答申の内容も踏まえつつ、見直しを検討していきたい。



## コロナ禍の中での小中学校の対応

池上 喜美子（公明党）

**問** ノート型パソコンを使った学習活動や授業は学校間やクラスごとでの対応に差があるとの声を聞く。先進的に行われている事例等を共有し、学びの保障に対応しているか。

**答**（教育長）教育委員会の情報担当指導主事が中心となり、各校の情報担当教員と定期的に情報交換や研修を行いICTに関する情報共有に努めている。また、上田市の教員がいつでも見ることのできる上田GIGAスクールサ

イトをウェブ上に開設し、授業で使われた教材や活用事例を毎日蓄積して、不慣れな教員も活用事例を参考にしたり、活用できるようにしている。ICTの効果的な活用は、一人一人に個別最適化された学びの実現につながることを期待されるが、ノート型パソコンはツールの一つである。児童生徒が授業の中で学ぶ意欲が湧き、効果的に活用できるように一層支援していく。

### ●その他の質問項目

1. 子育て家庭家事支援新制度
2. 家庭教育支援チーム活動支援制度



## 平和行政

成瀬 拓 (日本共産党)

**問** 平和学やSDGsの観点を踏まえ、平和の在り方をどう考え、平和行政に生かすか。

**答** (市民まち)平和学やSDGsでは、共通して物理的な暴力のほかに見えない暴力をなくすことで、真の平和と持続可能な社会が実現することを示唆している。戦争のない社会は無論、差別や偏見のない人権が尊重される社会を築くことが平和行政にもつながるとの認識を持ち、平和行政を進めていきたい。

**問** 平和の推進に関する条例を制定することも検討が必要と考えるが、見解はどうか。

**答** (市民まち)平和行政を推進するための有効な手段と認識しているが、まずは非核平和都市宣言の趣旨にのっとり、世界平和の実現、争いと核兵器のない世界を築くための啓発活動を行っていききたいと考えている。

### ●その他の質問項目

1. 空き家対策



## 近代化遺産と市民協働

佐藤 清正 (社志会)

**問** シナノケンシ株式会社所有の絹糸紡績資料館資料の活用と保全の方策はどうか。

**答** (丸子センター)ノコギリ屋根が特徴の資料館は昨年8月に閉館となった。貴重な収蔵品180点余りは市に寄贈いただき、各々の特性に応じ博物館や美術館、公文書館で保管し、一部は丸子郷土博物館で展示公開している。書籍類は貴重な資料として信州大学繊維学部へ寄贈された。シンボルであった大型の紡績

機械は将来の活用を考え、市の施設で保管している。

**問** 丸子のもう一つの近代化産業遺産であるカネタの煙突周辺ヘノコギリ屋根の資料館を移築し、複合的産業遺産公園として整備をしたいとする市民有志の取組をどう考えるか。

**答** (丸子センター)いずれも大変貴重な近代化産業遺産であり、公園化も含め、実現するよう地域の皆さんと市民協働で検討したい。

### ●その他の質問項目

1. 地域内分権と市民協働
2. 看護・介護の人材育成

## 市議会

## トピックス

### 令和3年度上田地域市町村議会議員研修会を開催しました

- 開催日** 令和4年1月13日(木)  
**講師** 株式会社エムブレントラスト代表  
 頂道塾 頂門塾 塾長  
 マネジメント・ガーディアン 中澤 昭彦氏  
**演題** 「VUCA(ブーカ)の時代が始まっている」



上田地域市町村議会議員研修会は、上田市議会が主催し、上田地域定住自立圏の構成市町村(上田市、東御市、長和町、坂城町、立科町、青木村、群馬県嬭恋村)の議員を対象に毎年1回開催しているもので、令和3年度は新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底したうえで開催しました。

当日はVUCA(ブーカ)時代と呼ばれる、先行きが不透明で将来の予測が困難な現代社会において地方議会議員に求められる矜持等を具体的な事例を御紹介いただきながら御講演いただき、充実した研修会となりました。



## 観光地域の新型コロナ ウイルス感染症対策

金井 清一 (社志会)

**問** 令和3年度中の補助金等による支援状況はどうか。

**答** (商工観光) 5つの観光協会にそれぞれ概ね1000万円、市全体に係る事業には増額し、合計で5000万円余の補助金を交付した。また、スポーツや文化活動などの合宿や体験教育活動を実施する団体に対して、上限額を20万円とした1人1泊当たり1000円の宿泊助成と、距離に応じた交通費などを助成しており、1月末現在で延べ553団体に対し

て、7800万円余を交付するなど様々な支援に取り組んできた。

**問** 第6波に対する観光産業への支援策は検討しているか。

**答** (商工観光)引き続き、1観光協会当たり概ね1000万円の補助金を交付する事業を実施したいと考えている。また、主に団体旅行を取り扱う市内旅行業者を対象とした旅行業者支援事業、スポーツや文化活動などの合宿や体験教育活動を実施する団体を対象とした合宿等誘致促進事業を実施するための関連経費を3月定例会で提案したところである。

### ●その他の質問項目

1. 住民自治組織と自治会



## 子どもの権利

石合 祐太 (新生会)

**問** 母子健康手帳に子どもの権利条約の記載をすることを考えるか。

**答** (教育次長)条約を多くの方々に知っていただくため、母子健康手帳を含め、様々な機会やツールを用いた啓発方法について関係課と検討していきたい。

**問** 「長野県の未来を担う子どもの支援に関する条例」では子どもの権利の明記がされておらず、本来は記載が必要な点と考えるが、見解

はどうか。

**答** (健康こども)指摘のとおり、県条例には子どもの権利に関する具体的な明記はないが、子どもの権利条約で保障する4つの包括的な権利は包含されていると考えられ、子どもの権利擁護は図られていると認識している。

### ●その他の質問項目

1. 市長1期4年間の総括と展望



## 医療的ケア児の 支援体制整備

飯島 伴典 (上志の風)

**問** 支援体制整備の検討状況はどうか。

**答** (市長)施設整備のハード的な課題とともに、医療的ケア児の増加等による支援体制の再構築や、単独サービスだけでなくその施策の推進などの今後の方向性を一体的に考えていく必要がある。市において医療的ケアが必要な在宅者は現在把握している限り27名おり、ご本人やご家族が抱える深刻な不安や看護に

おける負担を鑑みると、行政として寄り添った支援を届ける重大な責任があり、政策課題として認識している。市民に最も近い基礎自治体である市がサービス提供事業者や医療機関、あるいは各種関係団体と連携しながら、大切な課題であることを踏まえ、引き続き支援体制の整備・拡充を施策として進めていく。

### ●その他の質問項目

1. 全ての子供の教育を受ける機会
2. 上田市政策研究センターの今後



## 新型コロナウイルス感染症

齊藤 加代美 (新生会)

**問** 自宅待機をする濃厚接触者の生活関連の相談を全庁体制で連動して受けているか。

**答** (健康こども) ワクチン接種を含む様々な問合せに全庁的に対応するため、昨年5月に市民と直接接する施設や窓口を「よろず相談窓口」と位置付けた。市民の不安を軽減できるよう全庁一丸となり、市民に寄り添った対応に努め、必要に応じて体制を強化していく。

**問** 子供へのワクチン接種は不安な保護者が多

い。メリットや副反応等のリスクを分かりやすく示し、情報を確実に届けることは市の責務である。学校や幼保と連携し、効果的に情報発信をしたらどうか。

**答** (健康こども) 小児への接種を進めるに当たり正しい情報を的確に市民にお伝えし、ご本人や保護者の方が十分納得した上で接種いただくことが重要である。的確な情報伝達のため、具体的な方法については教育委員会や関係課と協議し、進めていく。

### ●その他の質問項目

1. 災害時における高齢者への緊急情報の伝達方法
2. 上田市千曲川×依田川地区かわまちづくり計画



## 上田市消防団の人材確保と活用

井澤 毅 (新生会)

**問** 団員確保が課題の中、経験を積んだ幹部団員には退団後、地域の自主防災組織に加わっていただき継続的に地域防災の一翼を担ってもらうシステム作りが必要ではないか。

**答** (総務) 経験豊富な消防団経験者の加入は組織の強化につながるものと考え。今後も消防団経験者に地域防災力の強化に貢献していただける体制づくりを促していきたい。

**問** 年額報酬の増額や出勤報酬の創設は消防団員の処遇改善とはなるが、団員確保は今後も大きな課題である。代替性のない存在の消防団を持続可能な組織としていくためには今まで以上の強力な方策が必要と考えるが、見解はどうか。

**答** (市長) 消防団は未来永劫なくてはならない組織であり、消防団員確保に向け、地域や消防団とともに行政も一体となって積極的に取り組んでいく。

### ●その他の質問項目

1. 上田市消防団の報酬及び定員の見直し



## 資源循環型施設建設

宮下 省二 (壮志会)

**問** 熱利用施設等を整備する場合、新たな用地確保が必要と思われるが、見解はどうか。

**答** (生活環境) 清浄園周辺の地域振興策として熱利用施設等を建設する場合、現在の用地面積では建設は困難なため、施設用地周辺に新たな用地を確保する必要がある。今後、資源循環型施設整備協議会等との協議により、地域振興策の計画の進捗に応じて検討したい。

**問** 建設に当たり必須の環境影響評価は3年後に

終了する。今後、大切な4年間を迎えるが建設に至る扉を自らの努力で開けられた土屋市長の決意はどうか。

**答** (市長) 地元の皆様との信頼関係を大切に着実に進めていく事が私の責務と考える。私が地元や現場に足を運び覚悟を持って取り組み、ぜひとも私の手で実現に向け最大限の努力、尽力をしていきたい。

### ●その他の質問項目

1. 市の組織改正
2. スポーツ都市宣言



## 国道143号バイパス整備

南波 清吾（上志の風）

**問** 平成29年12月定例会の一般質問では、歩道整備や中山間地域総合整備事業の状況を確認したが、その後の進捗はどうか。また、青木峠新トンネルの基本設計が行われていることから、事業化に向けた調査を進めてほしいと考えるが見解はどうか。

**答** (都市建設)バイパス整備は県事業であり、県には、国道143号およびその関連事業として浦野自治会から青木村にかけての歩道整備

などを最優先で進めてもらっている。また、川西地域におけるバイパス整備は通学路としての安全対策も検討していく必要があることから、既存の道路を生かした将来に向けた対策の一つと認識している。財源の確保も課題と捉えた上で、県との連携、調整を図りながら、全体的なビジョンの中で検討していきたい。

### ●その他の質問項目

1. 市道の整備
2. データセンターの地方分散

# 本会議をぜひご覧ください。

## どこでも インターネット中継 (生中継・録画配信)

- ・パソコン、スマートフォン、タブレット端末などで視聴できます。
- ・録画配信は、議員名、会派名、会議名で検索できます。また、用語検索もできます。

録画配信は会議の翌日から起算しておおむね5日後（土、日、祝日を除く）からご覧いただけます。ただし、編集の都合上、配信が遅れる場合があります。



上田市議会インターネット中継専用サイトはこちら



## 議場で 傍聴

- Q** 傍聴ができる方は？ **A** どなたでも議会の傍聴ができます。
- Q** 事前の手続きは？ **A** 市役所本庁舎5階の議会事務局で受付をして傍聴券を受け取ってください。なお、現在、新型コロナウイルス感染症対策として、氏名・住所・電話番号の記入、検温にご協力をいただいておりますのであらかじめご了承ください。
- Q** 予約は必要？ **A** 必要ありません。(大人数で傍聴にお越しの際は事前にご相談ください。)
- Q** 満席の場合は？ **A** 議場には入れませんが、議場外に設置のモニターで視聴できます。





令和4年  
1月

## 臨時会を開催

臨時会の会議録は、会議録検索システムからご覧いただけます。



## 生活者支援事業や事業者支援事業を盛り込んだ 令和3年度上田市一般会計補正予算(第12号)を審査

可決

新型コロナウイルス感染症の長期化を踏まえ、生活者支援や地域経済の下支えなどの国の施策に呼応した事業を速やかに進める必要があることから、令和4年1月臨時会が招集されました。

臨時会では、令和3年度一般会計補正予算(第12号)が上程され、審議の結果、全会一致で可決となりました。

### ミニ知識

#### 臨時会とは？

定例会のほかに臨時に本会議を開催する必要がある場合に、特定のことに限って審議するため招集される本会議を臨時会といいます。

### 補正予算に計上された事業をピックアップ



## 22億円

### 住民税非課税世帯等 に対する臨時特別給 付金給付事業

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々に対し、生活・暮らしの支援が受けられるよう、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金を給付

#### ●対象世帯

- ・世帯全員の令和3年度の住民税均等割が非課税である世帯  
(市税均等割が課税されている者の扶養親族等のみで構成される世帯を除く。)
- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けて令和3年1月以降に家計が急変した世帯

#### ●給付額

1世帯あたり10万円

#### ●その他の計上事業

- ・飲食店等緊急支援事業・・・▲7,660万円(事業費確定による減額補正)
- ・消費喚起応援事業・・・1億円

## 3月定例会最終日 ロシアによるウクライナ侵攻を強く非難

3月定例会最終日である3月4日、閉会に当たり、議長が上田市議会を代表してロシアによるウクライナ侵攻について言及しました。

- 我々は日本国内の一地方議会であるが、常に世界平和を希求する立場から、現在のウクライナ国内で起きている現状を傍観することはできない。
- ロシアに対し、戦争行為の即時停止を強く訴える。

また、市長の閉会のあいさつにおいて、ロシア軍による攻撃やウクライナに対する主権侵害に強く抗議するとともに、世界の恒久平和に向けた誠意ある対応を求める発言がありました。

## 3月定例会 新型コロナウイルス感染症対策を継続して実施

### 本会議、委員会

- ・本会議、委員会出席者の検温を実施しました。
  - ・審査中の飛沫感染を防止するため、議員（委員）は不織布マスクを着用しました。
  - ・委員会における密接場面を回避するため、審査会場として委員会室より広い大会議室も使用しました。
- また、委員会室で審査を行う際は、緊急を要する議案を除き、説明者の入れ替えを行い、入室者を減らしました。



### 議場の傍聴席

- ・傍聴者のソーシャルディスタンスを確保するため、前後左右の間隔をあけた座席配置としました。

## 市議会では、皆さんの要望などを 請願や陳情として受け付けています。

提出された請願や陳情は内容を審査し、採択か不採択を決定します。

### 請願

請願権は、憲法において基本的権利として認められています。

所管する委員会に付託して審査を行い、その結果をもとに、本会議で結論（議決）を出します。

請願は紹介する議員が必要です。なお、紹介議員は2人以内です。

### 陳情

陳情は、請願に準じた取扱いをしています。

議会事務局に持参し、提出された陳情は所管する委員会に付託して審査を行いますが、本会議での議決は行わず、委員会の審査結果を本会議で報告します。紹介議員は必要ありません。

### 記載要件

- ・日本語を用いること
- ・議長宛てであること
- ・次のことが記載されていること

趣旨、提出年月日、住所及び請願・陳情者の署名または記名・押印（※法人の場合はその名称及び代表者の署名または記名・押印）、紹介議員の署名または記名・押印（※請願の場合）

### 趣旨説明

請願・陳情の趣旨を明確にするために、提出者の希望により趣旨を説明する機会を設けています。

6月定例会で審議・審査する請願・陳情の提出期限

**6月7日(火) 午後3時**

詳細は上田市議会ホームページをご覧ください



一般質問や常任委員会の開催日などが決まりましたら、市議会ホームページやSNSでお知らせしますので、ぜひご確認ください。

上田市議会  
ホームページは  
こちら



上田市議会  
Facebookは  
こちら



上田市議会  
Twitterは  
こちら



令和4年度

# 上田市議会 開会予定日

令和4年度の市議会開会予定日が決まりましたのでお知らせします。

※日程は変更になる場合があります。

- 令和4年6月定例会 >>> 6月6日(月)
- 令和4年9月定例会 >>> 8月29日(月)
- 令和4年12月定例会 >>> 11月28日(月)
- 令和5年3月定例会 >>> 2月17日(金)



## 手話を学ぼう

市議会だよりでは、「いま覚えてほしい手話」をお伝えしています。

今回のテーマは

### 「おつかれさま」

“長野県ホームページ”  
「手話辞典」



### 「おつかれさま」

(後列) ②



(前列) ①

①右手拳の小指側で左腕を2回たたく。

②顔前で右手を斜めに構えて少し前へ出し、同時に頭を下げる。

## 編集後記

いつも市議会だよりをご覧になっていただき誠にありがとうございます。  
市議会だよりは、市民の皆様を上田市議会の活動に関心をお寄せいただき、注目していただけるよう広報広聴委員会の委員一人一人が様々な意見を交わし、編集や紙面づくりに取り組んでいます。引き続き、紙面により発信するとともに、昨年新たに導入した本会議のインターネット中継など、様々な手法を取り入れながら、議会の活動を発信してまいります。

市議会は市民の皆様とともに、より良い市政と市議会を目指してまいりますので、市議会のサポーターとしてご意見・ご感想をお寄せいただきますようお願いいたします。

(広報広聴委員長 林 和明)

## 表紙デザインコンテスト受賞者の声

▶ 仙田 晴久さん

このたびは、名誉ある「議長賞」に選んでいただきありがとうございました。

写真は、前山寺の三重塔で上田市民にとっては見慣れた風景ですが、偶然出会える瞬間、それを目に見る形にして残せる事が写真の大きな魅力だと思います。これからも、そんな写真を撮り続けたいと思います。

